

第6回恵那南地区中学校再編委員会 平成27年10月27日(火) 岩村振興事務所

◇議題

1. 開会のあいさつ
2. 議事
 - ・望ましい学校環境について
 - ・グループ討議
 - ・その他

◇第6回の概要

既設校舎を利用する場合はどの中学校がよいか、また既設校舎ではなく新築するべきなのかについて、各地域で討論を行って頂きました。最後に発表を行いました。全体的には『既設校舎を使うのであれば山岡か明智』『平等な位置に新築』という意見が多く出ました。



【第6回 グループ討議の様子】

第7回恵那南地区中学校再編委員会 平成27年11月10日(火) 岩村振興事務所

◇議題

1. 開会のあいさつ
2. 議事
 - ・第6回グループ討議の結果について
 - ・道路網による中心地の確認について
 - ・山岡中学校、明智中学校までの通学時間、通学距離について
 - ・新設校の授業時間について

◇第7回の概要

第6回の討論結果を踏まえて、主要道路網上の中心地の確認と、山岡中学校と明智中学校を利用校として想定した時の通学時間、通学距離を確認し、全体で意見交換を行いました。

次回はこれらの資料に基づいて、何を基本に考えていくのか等を踏まえて場所について検討していきます。



【第7回 通学時間説明の様子】



■ 恵那南地区中学校の再編についてよくある質問

Q 1 : 小規模学校のままでも問題ないのでは？

・小規模校にはその良さがああり、現に小規模校の特性や地域環境を最大限に活かした教育が行われています。学校規模については、どのような規模であっても一長一短がありますが、子ども達の発達段階や身に付けさせたい力を考えるうえでは、何に重きを置いて判断するかということが大切です。「小規模教育検討委員会」の報告書で示された内容が、恵那市において望ましい教育環境であると考えますので、統合についてご提案しているところです。

Q 2 : 学校再編は市の財政上の都合によるものなのでは？

・当市の財政が厳しいことは事実であり、教育委員会においても経費の節減と有効活用については、常に念頭においています。しかし、今回の恵那南地区中学校の学校再編については、財政的な理由や市の職員削減等の都合によるものではありません。純粹に、この地域の子どものたちのために、教育環境を充実させることが理由です。

Q 3 : 学校生活によるトラブル（いじめ、不登校など）が増えるのでは？

・いじめや不登校に至る理由はさまざまです。生徒が多くなることによってトラブルが増えるとは限りません。生徒が多くなることによって多様な考え方や人のタイプを知り、仲間と切磋琢磨しながら学ぶ機会の拡大につながると考えます。いじめや不登校の問題については、教職員が多いという利点を生かし組織的に対応することによって、これまで以上の成果が期待できると考えています。

Q 4 : 学校再編の時期はいつ頃になる予定？

- ・現時点では、具体的に時期を設定していませんが、平成26年度「中学校あり方検討委員会」から、「早急に改善を図る必要がある」「1校に統合することが望ましい」という提言をいただきました。平成27年度「恵那南地区中学校再編委員会」では、この提言に基づいて時期についても検討しています。
- ・「急がず地域住民の声をじっくり聞いて」という要望も多数いただいておりますが、少子化が進む中で中学校へ入学することになる子どもたちのために、「いずれはやらなければいけないが・・・」とむやみに時間を費やすことは避け、できるだけ早く改善を図りたいという願いも持っています。

Q 5 : 学校が無くなると地域が更にさびれていくのでは？

・小学校については、子ども達の体力や生活範囲を考え、状況が大きく変化しない限り現状を維持し、地域とのつながりを大切にしていけることが必要であると考えます。しかし、中学校については、人間形成を図る上できわめて重要な時期であり、生徒にとってよりよい教育環境を充実させることを考えていきたいと思ひます。

